

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
【部門区分】第2部門第1区分
【発行日】平成16年8月12日(2004.8.12)

【公開番号】特開2000-325819(P2000-325819A)
【公開日】平成12年11月28日(2000.11.28)
【出願番号】特願平11-143879
【国際特許分類第7版】
B 0 2 C 21/02
【F I】
B 0 2 C 21/02

【手続補正書】
【提出日】平成15年7月28日(2003.7.28)
【手続補正1】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項1】

フレームと、
このフレームに設けた走行手段と、
前記フレームの長手方向一方側に設けられ、被破碎物を受け入れるホップと、
前記フレームに設けられ、前記ホップで受け入れた被破碎物を破碎する破碎装置と、
前記ホップで受け入れた被破碎物を前記破碎装置に搬送するフィーダと、
前記フレームの長手方向他方側に設けられたパワーユニットと、
前記破碎装置で破碎した被破碎物を前記他方側へ搬出するコンベアと、
前記破碎装置の下端側と前記コンベアとの間に形成した作業用空間と
を備えることを特徴とする自走式破碎機。

【請求項2】
請求項1記載の自走式破碎機において、
前記フレームは、
前記破碎装置、ホップ、パワーユニット等を載置する破碎機取付けフレームと、
この破碎機取付けフレームと前記走行手段とを接続する脚部とから構成され、
前記脚部は、一端が前記走行手段の内側に取り付けられる履帯支持部と、
一端が前記履帯支持部の他端側に接続され、ここから略鉛直方向に立ち上がり他端が前記
破碎機取付けフレームの下端部に取り付けられる立ち上がり部とからなることを特徴とする
自走式破碎機。

【請求項3】
請求項1又は2記載の自走式破碎機において、
前記作業用空間の上下方向寸法を450mm以上としたことを特徴とする自走式破碎機。

【請求項4】
請求項1又は2記載の自走式破碎機において、
前記破碎装置下方における前記コンベアの下端面と地面との間の高さ方向距離を、200
mm以上としたことを特徴とする自走式破碎機。

【請求項5】
請求項1又は2記載の自走式破碎機において、
前記破碎機取付けフレーム又はパワーユニット積載部材の下方で、かつ、前記コンベアの
上方に、作業員の侵入用空間を、前記コンベアの搬送方向に沿って形成したことを特徴と

する自走式破砕機。

【請求項 6】

請求項 5 記載の自走式破砕機において、

前記侵入用空間は、少なくとも、略水平方向長径が 600 mm かつ略鉛直方向短径が 300 mm の楕円横断面形状を備えた略チューブ状空間を包含する空間であることを特徴とする自走式破砕機。

【請求項 7】

請求項 5 記載の自走式破砕機において、

前記コンベアのうち、前記無限軌道履帯よりも前記破砕機取付けフレーム長手方向他の側に位置する部分に、作業員用の昇降手段を設けたことを特徴とする自走式破砕機。

【請求項 8】

フレームと、

このフレームに設けた走行手段と、

前記フレームの長手方向一方側に設けられ、被破砕物を受け入れるホップと、

前記フレームに設けられ、前記ホップで受け入れた被破砕物を破砕する破砕装置と、

前記ホップで受け入れた被破砕物を前記破砕装置に搬送するフィーダと、

前記フレームの長手方向他方側に設けられたパワーユニットと、

前記破砕装置で破砕した破砕物を前記他方側へ搬出するコンベアと、

前記破砕装置の下端側と前記コンベアとの間に形成した作業用空間と、

前記パワーユニットを積載するパワーユニット積載部材と、

このパワーユニット積載部材のうち前記破砕機取付けフレーム長手方向他の側部分の下側に設けられ、前記コンベアの搬送方向に沿った形状の開口部と
を備えることを特徴とする自走式破砕機。

【請求項 9】

フレームと、

このフレームに設けた走行手段と、

前記フレームの長手方向一方側に設けられ、被破砕物を受け入れるホップと、

前記フレームに設けられ、前記ホップで受け入れた被破砕物を破砕する破砕装置と、

前記ホップで受け入れた被破砕物を前記破砕装置に搬送するフィーダと、

前記フレームの長手方向他方側に設けられたパワーユニットと、

前記破砕装置で破砕した破砕物を前記他方側へ搬出するコンベアと、

前記破砕装置の下端側と前記コンベアとの間に形成した作業用空間と、

前記破砕機取付けフレーム又はパワーユニット積載部材の下方で、かつ、前記コンベア
の上方に、前記コンベアの搬送方向に沿って形成した作業員の侵入用空間と、

前記パワーユニットを積載するパワーユニット積載部材と、

このパワーユニット積載部材のうち前記破砕機取付けフレーム長手方向他の側部分の下
側に設けられ、前記コンベアの搬送方向に沿った形状の開口部と
を備えることを特徴とする自走式破砕機。

【請求項 10】

フレームと、

このフレームに設けた走行手段と、

前記フレームの長手方向一方側に設けられ、被破砕物を受け入れるホップと、

前記フレームに設けられ、前記ホップで受け入れた被破砕物を破砕する破砕装置と、

前記ホップで受け入れた被破砕物を前記破砕装置に搬送するフィーダと、

前記フレームの長手方向他方側に設けられたパワーユニットと、

前記破砕装置で破砕した破砕物を前記他方側へ搬出するコンベアと、

前記破砕装置の下端側と前記コンベアとの間に形成した作業用空間と、

前記破砕機取付けフレーム又はパワーユニット積載部材の下方で、かつ、前記コンベア
の上方に、前記コンベアの搬送方向に沿って形成した作業員の侵入用空間と、

前記パワーユニットを積載するパワーユニット積載部材と、

このパワーユニット積載部材のうち前記破砕機取付けフレーム長手方向他の側部分の下側に設けられ、前記コンベアの搬送方向に沿った形状の開口部とを備え、

前記フレームは、

前記破砕装置、ホッパ、パワーユニット等を載置する破砕機取付けフレームと、

この破砕機取付けフレームと前記走行手段とを接続する脚部とから構成され、

前記脚部は、一端が前記走行手段の内側に取り付けられる履帯支持部と、

一端が前記履帯支持部の他端側に接続され、ここから略鉛直方向に立ち上がり他端が前記破砕機取付けフレームの下端部に取り付けられる立ち上がり部とからなることを特徴とする自走式破砕機。

【手続補正２】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１６

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００１６】

【課題を解決するための手段】

(１)上記目的を達成するために、本発明は、フレームと、このフレームに設けた走行手段と、前記フレームの長手方向一方側に設けられ、被破砕物を受け入れるホッパと、前記フレームに設けられ、前記ホッパで受け入れた被破砕物を破砕する破砕装置と、前記ホッパで受け入れた被破砕物を前記破砕装置に搬送するフィーダと、前記フレームの長手方向他方側に設けられたパワーユニットと、前記破砕装置で破砕した破砕物を前記他方側へ搬出するコンベアと、前記破砕装置の下端側と前記コンベアとの間に形成した作業用空間とを備える。

【手続補正３】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１９

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００１９】

(２)上記(１)において、好ましくは、前記フレームは、前記破砕装置、ホッパ、パワーユニット等を載置する破砕機取付けフレームと、この破砕機取付けフレームと前記走行手段とを接続する脚部とから構成され、前記脚部は、一端が前記走行手段の内側に取り付けられる履帯支持部と、一端が前記履帯支持部の他端側に接続され、ここから略鉛直方向に立ち上がり他端が前記破砕機取付けフレームの下端部に取り付けられる立ち上がり部とからなる。

【手続補正４】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００３１

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００３１】

(８)上記目的を達成するために、本発明は、フレームと、このフレームに設けた走行手段と、前記フレームの長手方向一方側に設けられ、被破砕物を受け入れるホッパと、前記フレームに設けられ、前記ホッパで受け入れた被破砕物を破砕する破砕装置と、前記ホッパで受け入れた被破砕物を前記破砕装置に搬送するフィーダと、前記フレームの長手方向他方側に設けられたパワーユニットと、前記破砕装置で破砕した破砕物を前記他方側へ搬出するコンベアと、前記破砕装置の下端側と前記コンベアとの間に形成した作業用空間と、前記パワーユニットを積載するパワーユニット積載部材と、このパワーユニット積載部材のうち前記破砕機取付けフレーム長手方向他の側部分の下側に設けられ、前記コンベアの搬送方向に沿った形状の開口部とを備える。

(9) また上記目的を達成するために、本発明は、フレームと、このフレームに設けた走行手段と、前記フレームの長手方向一方側に設けられ、被破碎物を受け入れるホップと、前記フレームに設けられ、前記ホップで受け入れた被破碎物を破碎する破碎装置と、前記ホップで受け入れた被破碎物を前記破碎装置に搬送するフィーダと、前記フレームの長手方向他方側に設けられたパワーユニットと、前記破碎装置で破碎した破碎物を前記他方側へ搬出するコンベアと、前記破碎装置の下端側と前記コンベアとの間に形成した作業用空間と、前記破碎機取付けフレーム又はパワーユニット積載部材の下方で、かつ、前記コンベアの上方に、前記コンベアの搬送方向に沿って形成した作業員の侵入用空間と、前記パワーユニットを積載するパワーユニット積載部材と、このパワーユニット積載部材のうち前記破碎機取付けフレーム長手方向他の側部分の下側に設けられ、前記コンベアの搬送方向に沿った形状の開口部とを備える。

(10) また上記目的を達成するために、本発明は、フレームと、このフレームに設けた走行手段と、前記フレームの長手方向一方側に設けられ、被破碎物を受け入れるホップと、前記フレームに設けられ、前記ホップで受け入れた被破碎物を破碎する破碎装置と、前記ホップで受け入れた被破碎物を前記破碎装置に搬送するフィーダと、前記フレームの長手方向他方側に設けられたパワーユニットと、前記破碎装置で破碎した破碎物を前記他方側へ搬出するコンベアと、前記破碎装置の下端側と前記コンベアとの間に形成した作業用空間と、前記破碎機取付けフレーム又はパワーユニット積載部材の下方で、かつ、前記コンベアの上方に、前記コンベアの搬送方向に沿って形成した作業員の侵入用空間と、前記パワーユニットを積載するパワーユニット積載部材と、このパワーユニット積載部材のうち前記破碎機取付けフレーム長手方向他の側部分の下側に設けられ、前記コンベアの搬送方向に沿った形状の開口部とを備え、前記フレームは、前記破碎装置、ホップ、パワーユニット等を載置する破碎機取付けフレームと、この破碎機取付けフレームと前記走行手段とを接続する脚部とから構成され、前記脚部は、一端が前記走行手段の内側に取り付けられる履帯支持部と、一端が前記履帯支持部の他端側に接続され、ここから略鉛直方向に立ち上がり他端が前記破碎機取付けフレームの下端部に取り付けられる立ち上がり部とからなる。